

PROGRAM

初期研修プログラムの紹介

国立病院機構 東広島医療センター

個々の希望に適う柔軟性の高い研修 設備環境や待遇面の良さも魅力

東広島医療センター 副院長 豊田 和広



東広島医療センターの 初期臨床研修について

当院は、病床数401床（一般381床・感染4床・結核16床）、診療科25を有する、広島中央医療圏唯一の急性期中核病院です。「地域がん診療連携拠点病院」、「地域医療支援病院」、「地域災害拠点病院」、「地域周産期母子医療センター」に指定されており、さらに「救急輪

番（二次救急）病院」として三次的救急患者も受け入れるなど、プライマリ・ケアから高度専門医療にいたるまで多種多様な症例が集まる病院です。研修医が1学年定員9名と大人数ではないため、十分な症例数と手技数をしっかり経験することができます。

全診療科と研修医が同じ一つの医局部屋であり、各診療科間の風

通しが非常に良く、どの診療科の医師にもコンサルトがしやすいです。経験を重ねるうちに自然と「こういった症状は何科に相談やコンサルトするのが適切なのか」といった判断スキルも養うことができます。

給与など待遇面も手厚く、また設備環境も充実しており、研修医にも一人一台の電子カルテPCがあることも魅力でしょう。官舎は病院から徒歩5分と近く、部屋も広くて快適ですし、病院は閑静な場所に位置しており研修に集中できる環境です。また、毎週金曜日にネイティブ講師による英会話教室（自由参加）を無料で受けることもできます。

プログラムの特徴について

多くの主要な疾患群を外科的なアプローチも含めて研修することができ、循環器、呼吸器、神経、消化器については希望に応じて臓器別の研修も可能です。内科から外科、外科から内科へと引き継がれる一連の流れで患者さんに接することができます。

研修プログラムは自由度が高く、1年次の4・5月の内科研修以外は一人ひとりの希望に沿ってプログラムを組むことができます。また、年間単位ではなく2、3か月前ごとに次のローテーション先を決めることができるなど、柔軟性の高さも特徴です。

救急外来や当直では研修医が

ファーストタッチを行います。当院に救命救急部はありませんが、各診療科の指導医・上級医によるきめ細かなフォローや指導・教育を受けることができるため、救急や当直を通して各診療科医師たちによる幅広い学びも得ることができます。

読者へのメッセージ

当院では、研修医一人ひとりのニーズ、自主性、個性を尊重した研修環境を用意しています。任される場面も多く（もちろん経験豊富な指導医や上級医のフォローも万全ですので安心して診療に臨むことができます）、3年目につながる確かな実践力と医師としての自信も得られるでしょう。研修では日々淡々と症例をこなすのではなく、一つひとつの症例を大切に学び、また何事にも積極的に関わって多くのことを吸収してください。初期研修で得たさまざまな学びと経験は、3年目以降、医師として成長し続けるための大きな財産となるはずです。



PROFILE

出身地：広島県
出身大学：広島大学（1987年卒）
宝 物：研修医
座右の銘：和而不流

VOICE × 初期研修医

風通しが良く、着実に成長できる環境

初期研修医 2年目 今井 天晴

当院は風通しの良さが大きな魅力。それは救急外来を経験した際にすごく実感しました。ファーストタッチは研修医がするのですが、上の先生と一緒にですし、他科への相談やコンサルトもしやすく、みなさん嫌な顔一つせず快く引き受けてくださいます。安心して救急外来や当直に臨むことができる環境であるため、たとえば、救急搬送連絡の事前情報から必要な検査オーダーを出せるようになるなど、着実な成長を実感することができます。



PROFILE

出身地：高知県
出身大学：広島大学
（2023年卒）
宝 物：自分に残された
限りある時間
座右の銘：一期一会

研修医にも一人一台の電子カルテ

初期研修医 2年目 徳本 雄己

疑問や症例を調べる際、研修医にも一人一台の電子カルテPCがあるため、「使いたいときに使えない」ということがなく、リラックスできる自分のデスクで誰にも気兼ねすることなく、いつでも自由に電子カルテを使えることは大きな魅力です。院内は開放的で、どの先生にも気軽にコンサルトができます。研修は自由度が高く、いろんな科を経験できるため将来の進路が決まっていなくても自分の進むべき道を見つけられるはずです。



PROFILE

出身地：広島県
出身大学：山口大学
（2023年卒）
宝 物：祖父に買って
もらった車
座右の銘：めりはり



国立病院機構 東広島医療センター

住所 〒739-0041
広島県東広島市西条町寺家 513
WEB <https://higashihiroshima.hosp.go.jp>

病床数 **401** 床 診療科数 **25** 科

東広島医療センターの特徴

1939年に設立された傷痍軍人療養所を前身とする、歴史と伝統のある病院。広島県中央地域に位置し、人口が増加傾向にある地域医療の重要な拠点として24時間365日、患者さんを受け入れている。また、政策医療としてがん、循環器病、呼吸器疾患、内分泌・代謝性疾患の専門医療施設として機能している。



アレルギー専門研修プログラムの紹介

国立病院機構 三重病院

高度な臨床力と研究力を獲得 優れた“総合アレルギー科医”に

三重病院 小児科・アレルギー科 臨床研究部長／指導医 長尾 みづほ

三重病院のアレルギー専門研修プログラムについて

当院は、「アレルギー疾患医療拠点病院」として三重県のアレルギー疾患医療の中心的役割を担っており、小児科、耳鼻いんこう科、眼科、内科が連携し、小児から成人まで多臓器にわたる多様なアレルギー疾患に対応しています。

研修では、アレルギー外来、食物

経口負荷試験、経口免疫療法、経皮免疫療法、気管支喘息、アトピー性皮膚炎などの治療計画を、指導医・上級医のサポートを受けながら自ら判断して行うことで、専門的な幅広い知識と臨床スキルを確実に自分のものにしていきます。

アレルギー専門医資格取得はもちろん、小児から成人まで対応できる“総合アレルギー科医”としての確

かな実力を獲得できます。さらに小児一般外来・小児一般入院・当直・ER対応などを行うため、小児科医としてさらなるスキルアップも可能です。

研修は自由度が高く、「研究をしたい」「学位を取得したい」「国内留学で学び、戻った後はリーダーとなってアレルギー診療をしたい」「子育てや諸々の事情で限られた時間しかないけれども勉強したい」といった個々のニーズや目標を尊重した研修を提供しています。

三重病院の研修環境について

“人を診る”こともアレルギー診療に重要なスキルです。アレルギーは治療効果の高い新薬が続々と登場していますが、治療効果を十分に得るためには薬の適切な使用が大切であり、そのためには患者自身や家族の協力が不可欠です。患者の特性や患者を取り巻く家族・社会といった生活背景を知り、問題があれば適切なサポートを行うこともアレルギー専門医の大切な仕事となります。当院に隣接して「特別支援学校」が併設されており、当院で長期入院中の子ども達も登校しているため、子どもの特性や生活背景が見えやすく、“人を診る”ことができる最良の環境にあることも特徴です。

また、当院では高い臨床力だけではなく研究力も獲得することができます。臨床研究部が設置されており、臨床研究、基礎研究、論文執筆、学会発表(国際学会にも参加)が盛んで

あり、さらに三重大学連携大学院であるため医学博士の取得も可能です。

働きやすさも魅力であり、診療体制はチーム制により個々の負担が少なく、業務は基本的に就業時間内に終了し、有休休暇も希望日に取得できます。また勤務時間の調整も可能であるため、子育て中の医師も無理なく研修をすることができます。

初期研修医のみなさんへ メッセージ

アレルギー専門医はジェネラリストでもあります。どの診療科でも薬を出す以上、薬剤によるアレルギー発症の可能性があり、アナフィラキシー症状等への対応の研修は重要です。さらにアレルギー疾患は花粉症など有症率が高いものもあるため、将来どの診療科に進もうともアレルギーに対する一定の基礎知識は必要です。医学生や初期研修のうちにアレルギーに触れておくことは非常に重要であり、そうしたなかで一人でも多くの医師にアレルギーに興味を持っていただき、奥深いアレルギーの世界に足を踏み入れてくれたら嬉しく思います。



PROFILE

出身地：三重県
出身大学：岐阜大学(1997年卒)
宝物：家族
座右の銘：ケ・セラ・セラ

VOICE × 専門医

研究活動も盛んで、国際学会発表も経験

岩井 郁子

長期入院の子ども達も通学する「特別支援学校」が併設されており、“生活も診る”ことができる環境です。複雑な家庭環境の子どもには地域や関係各所と連携しながら家庭や原籍校に戻るためのサポートを行うなど、治療や社会復帰への幅広いアプローチも学べます。研究・学会活動も盛んで、私もハワイやスペインの国際学会で発表しましたが、多くの海外医師に興味をもっていただくなど当院の研究レベルの高さを改めて実感しました。



PROFILE

出身地：岐阜県
出身大学：福井大学
(2013年卒)
宝物：家族
座右の銘：継続は力なり

“求めよさらば与えられん”の環境がある

有馬 智之

研究、論文執筆、学会発表なども盛んですし、小児アレルギーの最新治療も学べます。雰囲気は抜群に良く、上司の部屋の扉はいつも開かれており、気軽に意見や相談することができます。“求めよさらば与えられん”の環境があり、努力していれば必ず上司や周りが助けてくれますし、求めれば求めるほど得られるものも大きい場所です。全国各地から集まってきた同世代の仲間と共に切磋琢磨しながら学べることも魅力です。



PROFILE

出身地：山口県
出身大学：近畿大学
(2014年卒)
宝物：家族、
走り続けられる身体
座右の銘：倒れる時は前のめり



国立病院機構
三重病院

住所 〒514-0125
三重県津市大里窪田町 357
WEB <https://mie.hosp.go.jp>

病床数 **260**床 診療科数 **14**科

三重病院の特徴

小さな子どもから高齢者まで社会的弱者を支える総合成育医療機関である。小児医療、重症心身障がい児医療、神経難病医療、リハビリテーションなど、多岐にわたる医療サービスを提供。また、地域との連携を強化し、医療だけでなく健康増進活動や予防医療にも力を入れ、地域全体の健康向上に寄与している。